

公益社団法人日本地球惑星科学連合
平成 30 年度第 5 回理事会議事録

1. 開催日時 平成 30 年 12 月 4 日 (火)
午後 15 時 00 分から午後 19 時 00 分
2. 開催場所 東京大学理学部 1 号館 710 号室
(東京都文京区本郷 7-3-1)
3. 出席者 理事数 20 名
出席理事 19 名 (定足数 11 名 会議成立)
4. 議長 理事 川幡 穂高
5. 出席役員
 - 理事 阿部 なつ江
 - 理事 市川 洋
 - 理事 井出 哲
 - 理事 ウォリス サイモン
 - 理事 小口 千明
 - 理事 川幡 穂高
 - 理事 河宮 未知生
 - 理事 木村 学
 - 理事 倉本 圭 (Zoom 出席)
 - 理事 中村昭子 (Zoom 出席)
 - 理事 成瀬 元 (Zoom 出席)
 - 理事 田近 英一
 - 理事 中村 正人
 - 理事 西 弘嗣
 - 理事 浜野 洋三
 - 理事 日比谷 紀之
 - 理事 古村 孝志
 - 理事 道林 克禎
 - 理事 村山 泰啓
 - 監事 加藤 照之
 - 監事 鈴木 善和

6. 出席オブザーバー

宇宙惑星科学セクションプレジデント 高橋 幸弘
大気水圏科学セクションプレジデント 蒲生 俊敬
大気水圏科学セクションバイスプレジデント 谷口 真人
固体地球科学セクションバイスプレジデント 田中 聡
地球生命科学セクションプレジデント 遠藤 一佳
水文・水資源学会 飯田真一（寶 馨 学協会会長会議議長 代理）

午後 15 時 00 分、定数に達したので川幡穂高会長が開会を宣した。インターネット電話 ZOOM を利用し、遠隔地から参加する倉本理事、中村昭子理事、成瀬理事が審議に参加できることを確認した。

7. 審議事項

第 1 号議案 新入会員承認の件

定款第 8 条 2 項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を審議した。これを承認した。

第 2 号議案 委員会委員承認の件

環境災害対応委員会、教育検討委員会、ジャーナル編集委員会の各委員会の新規委員を承認した。各委員会の委員候補を示し、委員会ごとに審議した。これを承認した。

第 3 号議案 2019 年度の予算

11 月 15 日、2019 年度予算に関して財務委員会と各委員会およびセクションとの間でヒアリングを行った。その結果に基づいて財務委員会が設定した 2019 年度予算方針について説明があり、理事会審議項目としていた以下の件を審議した。

情報システム委員会の海外招聘費について審議し、200,000 円を招聘費として認めることを承認した。AGU への研究者の参加旅費については原則的に削減とするが、連合の用務のみで出張するなどについては、要請があれば財務委員会と個別に相談することとなった。

プレジデンシャルレセプションの予算について審議した。海外からの招待分の予算を確保し、2019 年は一旦規模を縮小して開催し、参加者他のコメントをいただくこととなった。2020 年については、寄付制も含めて会費制での開催も含めて開催方法を検討することとな

った。

新聞プログラムの継続について審議した。アプリのダウンロード数が増えているものの、全参加者が利用しているわけではない等の現状を考慮し、2019年大会では新聞プログラムの予算は承認するが、ごみの削減、紙資源の節約も大事なので、将来的には新聞プログラムはなるべく早く廃止する方向で検討する。さらに、本方針をコミュニティに周知する努力を徹底することとなった。

中村財務委員長から、ビール配布をソフトドリンクに置き換えるとの提案があり、これについて審議した。賛否両方の意見があったが、2019年大会ではビール配布を一度休止した。

全体として2019年の大会中にアンケート調査などをきちんと行い、参加者の意向を汲み取る努力をし、今後に反映することとした。

第4号議案 「JpGU2016-2018大会の開催状況と財政状況の報告」について

2016年大会での参加登録料改訂に伴い、2018年大会が終了した時点で3年間の財政状況を参加者に示し、またそれに基づいて2019年以降の大会の運営方針についても示すとしていた。これに従い、2018年度内に、実際の財政状況を整理し運営方針を定めた後に会員に向けて示すことが提案された。これを承認した。

JpGUでは、2017年のAGUとのジョイントミーティングの開催に向け、(1)連合大会の国際化 (2)電子的サービスの更新・拡充 (3)連合大会会場の拡大 (4)事務局の増強、の実現のために必要となる経費増を、2016年から2018年の3ヶ年で補うことを目指して、2016年からの参加費の価格改定(値上げ)を行った。2018年大会が終了した時点で、値上げ前の2015年と値上げ後の3年間(2016年-2018年)の登録参加者数、発表論文数、大会収入、大会支出等の平均値を比較した。2015年に比して3年間平均値は、参加者数が850名、論文数が約1000件増加しており、参加費の値上げが、参加者に広く受け入れられたことを示す。また各参加学会等の協力等も貢献している。3ヶ年の平均値では、大会収入の増加は約5000万円、大会開催に必要な支出増は約4000万円であり、大会の収入-支出=差益は、3年間各1000万円の増加となっている。この差益から大会運営のために必要な管理費、事務局の増強分の費用を引くと、2015年と2016年からの3年間平均値はほぼ等しくなっている。この結果は値上げ前の2015年9月の時点での参加者、会員の皆様へのお約束通り、値上げによる収入増は、ほぼ全て当初目的の達成のために使用され、値上げが受益者負担の原則を満たしていることを示す。

第5号議案 研究力強化に向けた女性活躍指標の整備に関する要望(案)

男女共同参画学協会連絡会から、「研究力強化に向けた女性活躍指標の整備に関する要望」の案が示され、連絡会参加学協会からの意見が求められている。審議の結果、連合としてはこの要望案を指示する旨、承認された。なお、用語の日本語訳が必ずしも真意を伝えていないおそれもあるので、精緻な翻訳について、連絡会にもコメントとして通知することとなっ

た。

第 6 号議案 大学等 高等教育機関の入学試験に対する声明文について（案）

男女共同参画学協会連絡会から、「大学等高等教育機関の入学試験に対する声明」の案が示され、連絡会参加学協会からの意見が求められている。検討し、連合としてはこの声明案を支持する旨、承認された。

第 7 号議案 人材活用の見える化の検討

2020 年に向け、連合の会員システムを用いた新しいキャリアサポートの取り組みの案が示された。本件は若手や学生だけでなく、リタイア後の人材、および、育休などを理由に時短勤務を希望する人材などの活用も視野に入れる。また、英語での情報掲載にも重点を置く。

予算により実行の範囲も変わってくるので、これについては今後の検討課題とする。また、連合がすでに持っている公募情報システムの拡充も一案として検討する。情報掲載をオープンにするか会員限定にするかについても、情報の公開の安全性や個人情報のやり取りの必要性なども考慮して検討する。いずれにしても、本件の検討を開始することを承認した。

第 8 号議案 大会危機管理について

道林理事より緊急動議があり、大会危機管理について、災害等により開催ができなかった場合の対応について審議した。特に、2019 年の連合大会に向けての情報提供の時点で原則を示す必要があるので、「原則として投稿料参加登録費は返金しない。」という文言を投稿受付開始時にホームページに掲載することを承認した。但し、起こり得る状況はさまざまに予想されるので、返金可能な場合も含めて、さらに詳細に検討することとなった。

第 9 号議案 国立大学教育研究評価委員会専門委員及び機関別認証評価委員会専門委員の候補者の推薦について

西理事より緊急動議があり、国立大学教育研究評価委員会専門委員及び機関別認証評価委員会専門委員の候補者の推薦について連合からの推薦について審議した。会長、副会長、総務理事で検討することとして推薦を検討することを承認した。

7. 報告事項

1. 川幡穂高代表理事職務報告

川幡会長より、1 月 15 日、3 月 5 日の理事会開催予定と、5 月 28 日の総会、学協会長会議の予定が示された。

2. ウォリス理事（グローバル戦略担当）職務報告

グローバル戦略委員会の活動報告があった。

- ・セッションの英語化を更に推進するため、議論を続けている。特に2020年大会についてはAGUとのJoint Meetingで、セクションからも積極的に英語化を推進すべく努力するという意向が表明されたので、グローバル戦略委員会としてもこの方向に沿って、宣伝を拡大していくこととなった。本件について、理事会としても賛成する旨が表され、2020年の大会については、英語化を強く推奨することとなった。

- ・EGUとのMOUを従来と同様の内容で更新する方向で、AGU FALL MEETINGで詳細に打ち合わせをする。

- ・2020年大会での海外からの招聘に関して、その時期に他の大学、研究所などで招聘される研究者がいれば、その招聘元に依頼し、連合大会にて発表を呼び掛ける等の案が紹介された。

- ・台湾や韓国等のアジアの国・地域とも国際連携を強める

- ・第7号議案ですでに審議したが、人材活用の見える化についても議論した。

3. 田近英一理事（広報普及担当）職務報告

広報普及委員会の活動報告があった。

- ・パブリックセッション採択の基準を今回刷新し、明確化しパブリックセッションを採択した。

- ・JGL11月号（Vol14-4）を発行した。JGLについてはこれまで広く配布していたが、今後は個人会員のみ配布することとする。またプライバシーポリシー改訂にともない、プライバシーポリシーに同意していない会員にはJGLを送付できない状況にあることが説明され、JGLに同封した説明書の紹介があった。出席者にも、周囲への告知の協力が依頼された。

- ・12月27日に東京大学理学部1号館小柴ホールで、高校生のための冬休み講座2018を開催予定である。

4. 古村理事職務報告

11月30日、「新公益法人制度10年を迎えてのヒアリング」に出席した旨報告があった。事業や税額控除団体申請の困難さ、煩雑さについてなど意見を伝えた旨、報告があった。

5. 西弘嗣理事（総務担当）職務報告

- ・連合が承認した協賛、後援について報告があった。

- ・事業計画・事業報告の作成開始するにあたって、委員会・セクションに協力の依頼があった。

- ・事務局職員の就業規則設置にともない、フレックス制に移行している。コアタイム以外は各職員が不在の場合もある旨説明があった。

6. 大会運営委員会活動報告（浜野理事）

2019 年大会準備状況について報告があった。セッション提案・採択状況やスケジュールについて報告があった。また展示企画出展者の募集と勧誘について協力の依頼があった。

7. 危機管理検討 WG 活動報告（道林理事）

危機管理検討ワーキンググループの活動について報告があった。10 月 25 日に会合を開き、道林克禎委員を主査に選任した。現在、危機管理対応マニュアルの草案を作成中である。

ワーキンググループとしては、支払われた投稿料参加登録費は返金しないこと、また大会が開催できなかった場合でも発表されたとみなすことで対応することを提案した。理事会として、これを了承した。

8. 教育検討委員会活動報告（市川理事）

教育検討委員会の活動報告があった。

- ・2019 年国際地学オリンピック、ならびに 2019 年国際地理オリンピックの参加者募集状況などの報告があった。

- ・教員免許状更新講習の募集状況の報告があった。

- ・10 月 13 日から 19 日まで開催されたアースサイエンスウィークジャパンの開催報告があった。

- ・10 月 26 日の教育検討委員会幹事会の開催報告があった。ホームページの整備を予定していることや教員等養成小委員会の活動の見直しなどの議論をした。

- ・11 月 20 日の理数系学会教育問題連絡会の開催報告があった。

- ・地球科学普及講演会「地球をぶらり」の開催報告があった。

- ・木村理事より学術会議の人材育成分科会

9. ダイバーシティ推進委員会（小口理事）

ダイバーシティ推進委員会の活動報告があった。

- ・委員会内の役割分担について報告があった。

- ・男女共同参画学協会についての報告があった。2019 年度分担金額が 20,000 円に確定した。

- ・「女子中高生夏の学校」への参加報告があった。

10. ジャーナル編集委員会活動報告（倉本理事）

ジャーナル編集委員会の活動報告があった。PEPS と EPS が共同で科研費を申請したことについて報告があった。

11. 固体地球科学セッション報告（田中バイスプレジデント）

リソスフェア・マントルのダイナミクスに関する第2回アジア・太平洋域ワークショップの活動報告があった。SAKIGAKE-JpGU Hard-rock drilling Focus Group kick-off workshopの活動報告があった。これら2件には固体地球科学セッションから旅費の支援を行っている。

新たなフォーカスグループである表層変動熱年代学(Thermochronology on earth's surface processes)を設置したことについて報告があった。

12. その他

環境災害対応委員会から活動報告があった。パブリックセッション、ユニオンセッションの提案の報告、「ぼうさいこくたい2018」への参加報告があった。

情報システム委員会から活動報告があった。オープンサイエンスに関わる議論を行うにあたり、「方向性」（原則）を設定したいため、意見を募集する旨説明があった。

顕彰委員会から活動報告があった。本年度のフェロー、西田賞の募集について周知の依頼があった。また、2019年大会時の定期大会参加促進事業（旅費支援）の予定と準備状況についても説明があった。

議長は以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（午後19時00分）以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席理事は次に記名・押印する。（捺印欄配布時省略）

平成30年12月4日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第5回理事会

出席理事 川幡 穂高 印

出席理事 阿部 なつ江 印

出席理事 市川 洋 印

出席理事 井出 哲 印

出席理事 ウォリス サイモン 印

出席理事	小口	千明	印
出席理事	河宮	未知生	印
出席理事	木村	学	印
出席理事	倉本	圭	印
出席理事	田近	英一	印
出席理事	中村	昭子	印
出席理事	中村	正人	印
出席理事	成瀬	元	印
出席理事	西	弘嗣	印
出席理事	浜野	洋三	印
出席理事	日比谷	紀之	印
出席理事	道林	克禎	印
出席理事	古村	孝志	印
出席理事	村山	泰啓	印
出席監事	加藤	照之	印
出席監事	鈴木	善和	印